

夏の企画展

最後に「あなたの苦しみは大変でしたね」と言うと、
夫は「おれは良い家族に恵まれて幸せだった。
ありがとう。」の言葉を残してくれました。



戦傷病者の妻として生きて

平成28年 **7.20 wed** — **9.11 sun**

[会場] しょうけい館1階

[開館時間] 10:00 ~ 17:30 (入館は17:00まで)

[休館日] 毎週月曜日 (8月15日開館・8月16日休館)

[入館料] 無料

[後援] 千代田区

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 ツカキスクエア 九段下

Tel.03(3234)7821 Fax.03(3234)7826

<http://www.shokeikan.go.jp>

 **しょうけい館**
戦傷病者史料館
Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers, etc.

夫とともにも 歩んだ道

夫とともに歩んだ道

戦傷病者の労苦を語る上で、彼らを支え続けてきた妻たちの存在は欠かせません。戦傷病者の妻たちは、何かしらの不自由を抱えて生活する夫の目となり手足となって支え、苦難を乗り越えてきました。一部の重症者を除いて恩給が途絶えた戦後の混乱期には、苦しい家計を支えるために一家の稼ぎ手となつて働いた人もいます。そんな中、精神的にも肉体的にも過酷な状況を、自らの手で変えようという動きが起こります。それが「傷痍軍人妻の会」でした。妻の会を通じて、同じ境遇にある人々との交流を深め、また恩給増加を国に訴えたりするなど社会運動の参加にまで及びました。

苦境にあつても不自由な夫を常に励まし、強く生き抜いてきた妻たちの労苦を、傷痍軍人妻の会の資料と証言者の関連資料をもとにお伝えします。



戦傷病者の妻として生きて



日本傷痍軍人妻の会結成大会 (1961)



傷痍軍人結婚物語 (1943)



傷痍軍人妻の会記章

関連イベント

中学生・大学生による体験記朗読会

戦傷病者の体験記を学生たちが朗読します。

【朗読者】千代田区立九段中等教育学校演劇部

法政大学アナウンス研究会

【日時】8月14日(日) 13時30分～15時30分

【場所】千代田区役所1階 区民ホール

【その他】当日参加自由・無料

DVD上映会

時は昭和の15、6年。浅草のレコード店・オデオン堂の家族と下宿人たちは無類の音楽好き。その音楽好きも禍いし、一時は「非国民」と貶められて、またある時は娘が傷痍軍人と結婚して「軍国美談の家」と褒めそやされて…。繰り返し公演されている人気作品、是非ご覧ください。

【作品】「きらめく星座―昭和オデオン堂物語―」

劇団「こまつ座」

【日時】毎週日曜日 13時～15時30分(2時間22分)

※8月14日(日)は除く

【場所】しょうけい館証言映像シアター

【その他】着席での鑑賞希望の場合、要事前予約・無料

フロアレクチャー

学芸員が企画展の展示解説をします。

【日時】7月30日(土)、8月20日(土)の14時より約30分

【場所】しょうけい館1階

【その他】当日参加自由・無料

当館は、戦傷病者とそのご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、次世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設として、平成18年3月に開館しました。

しょうけい館という館名は、戦傷病者とそのご家族の労苦を知り、語り継ぐという趣旨から、受け継ぎ、語り継ぐという意味の「承継」という言葉からとっています。

- 地下鉄をご利用の場合
「九段下」駅6番出口から徒歩1分(東西線、半蔵門線、都営新宿線)
- 都営バスをご利用の場合
「九段下」停留所から徒歩1分(高71系統(九段下～高田馬場駅))

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。※車椅子で来館される場合は館のA入口をご利用ください。

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 ツカキスクエア 九段下
Tel.03(3234)7821 Fax.03(3234)7826 <http://www.shokeikan.go.jp>

